



お仕事調べ隊



「法律のプロ」の弁護士は困った人の相談に乗り、解決に導く正義の味方だよ。「裁判長、異議あり！」と法廷で叫ぶ姿がドラマで描かれませんが、実際はどんな仕事をしているんだろう。仙台市青葉区の法律事務所「小泉結佳さん(28)に話を聞いたよ。(8面に関連記事)」

「降って湧いたトラブルに困り果て、戸惑いの真ただ中にいる人からの相談が多いですね」

小泉さんは弁護士になって3年目。相談者の声にじっくり耳を傾け、

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

相談に乗って解決に導く



相談者の話に耳を傾ける小泉さん。「弁護士は人と向き合う仕事です」=3月13日、仙台市青葉区

弁護士

「お困りポイント」を的確に把握するよう心掛けています。



弁護士の仕事内容は大きく「刑事事件」と「民事事件」に分かれます。刑事事件では、殺人や傷害、窃盗、ストーカーなど犯罪の疑いかけられた容疑者の権利を守るのが弁護士の役割です。本人の言い分を確認し、認めている場合は理由や現在の心境を聞き

再び犯罪を起こさないため、社会復帰後の生活を考えることも。「容疑者の味方をする弁護士活動は世の中の良い印象がないかもしれませんが、すごくやりがいを感じる仕事です」と話します。

もう一つが、日常生活

活の中で起きた争いごとが対象の民事事件です。弁護士は相談者の代理人

となり、争いのある相手と交渉したり、裁判所に訴えを起こしたりします。

小泉さんの元には「交通事故の原因がどっちに

あるかで相手側と認識のずれがある」「商品を納めたのにお金が支払われない」などといった相談が寄せられます。

突然のトラブルに巻き込まれ、強いストレスを抱えている人も少なくありません。「本人がうまく言葉にできないことがあるので、きちんと聞き取り、内容を整理して文章に起こすようにしています」



解決の道筋が見えてくると、相談者の表情も明るくなります。「心が軽くなりました」「先が見えて安心しました」。こうした言葉が次の仕事の励みになっています。

小泉さんは小さい頃から世話好きで、「ありがとう」と言われるのが好きな子だったそうです。

「そういう面では自分に合った仕事かと思えます」とほほ笑みます。

この日 何の日

◇7日(火) 世界保健デー

1948年のこの日、世界保健機関(WHO)が設立されたことに由来する記念日。毎年テーマが変わり、今年「科学に基づき、みんなで健康に」です。普段の生活習慣や健康を見直す日にしてはどうでしょうか。

キホンの紙面

- 2面 作って遊んでサイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 小泉結佳さんに聞く